



卒業の日を迎え、中央小学校、比布中学校では、希望に満ちた笑顔輝かせた卒業生が新しい生活に向けて元気に羽ばたいていきました。



3月17日
中央小学校卒業式
卒業生 25人



3月14日
比布中学校卒業式
卒業生 31人



3月9日、中学3年生が作詞作曲した「びっぴイメージソング」の動画を撮影しました。今後、まちのPRに活用します。

二十歳の君へのメッセージ

二十歳の自分にあて、小学6年生は手紙、中学3年生はビデオレターを撮影しました。
未来の自分へのエールやメッセージ、今の自分の思いが込められた手紙とビデオは成人式で鑑賞します。自分が比布町で育ったことを忘れず、家族や友だち、ふるさとを、いつまでも大切にしていってほしいと願っています。



健康生活

脳梗塞⑤

脳梗塞の後遺症は、血流が妨げられ、組織が壊死した箇所や治療までの時間によって、重さが変わります。代表的な後遺症には、感覚障害・視覚障害・言語障害の3種類があります。

■感覚障害
「片まひ」と呼ばれ、体の左右どちらかにまひが残る運動まひです。運動機能に関する脳の左側が壊死した場合は右側、右側の壊死であれば左側というように左右反対側にまひが残るのが特徴です。

この障害は、自立歩行などある程度の日常生活ができる軽度なものから、一人での日常生活は難しいものまで、人により状態は様々です。

■視覚障害
視覚中枢部分に壊死が起こると、失明や視力の低下といった障害が残ります。

■言語障害
言葉が出てこなく、会話が出来ない、酔っている時のようにろれつが回らない、また、喉の筋肉が動きづらく声が出にくいなど、構音障害や失語症といったかたちで残る障害です。

◆知的障害
脳の知的中枢が壊死した場合に起こります。文字の読み書きができなくなる、尿意を感じなくなり失禁してしまう、といった症状が現れます。

◆情緒的障害
前頭葉・側頭葉に壊死が見られた場合、気力が著しく低下する、記憶が困難になる、情緒が不安定になり感情を制御できなくなる等の症状がみられ、うつ病や不眠、認知症などにも繋がるおそれがあります。

脳梗塞による後遺症は、それまでの日常生活だけでなく、その人自身の人格すら大きく変えてしまう可能性を含んでいるといえます。

びっぴクリニックでは、消化器(胃・大腸・痔・乳がん・腹腔鏡下胆のう摘出術等)を行っています。また、土曜日(月2回)、旭川医大血管外科の医師が診療をしています。
町立びっぴクリニック
院長 加藤一哉

優秀賞に杉山寅雄さん

平成28年度上川総合振興局森林づくりコンクール優秀賞に、杉山寅雄さん(15区)が選ばれました。

このコンクールは、適正な森林整備で地域の模範となる森林づくりを行っている森林所有者を表彰しています。杉山さんは建築用材に使われるトド松など良質材の生産のために、つる切りや枝打ち、下草刈などの作業を農業の合間に行い、また、農閑期の11月以降は山を巡回して、風で倒れた木などをチェーンソーを使って自ら整理するなど、きめ細やかな森林管理に努めています。

なお、本コンクールの受賞とあわせ、旭川市森林組合模範組員緑褒章も受賞されました。



有限会社遠藤農産のまいたけ 林野庁長官賞を受賞

有限会社遠藤農産のまいたけが、「第13回北海道きのこ品評会」(北海道きのこ生産・消費振興会主催)で最優秀賞を受賞しました。

この品評会は、きのこの生産技術の向上と消費拡大を目的としたもので、鮮度や色形などを総合的に審査し、入賞作品が選ばれます。

昨年に引き続き、最優秀賞の受賞となり、今年はその中でも最も上位に当たる林野庁長官賞に選ばれました。

同社でまいたけの生産を担当している遠藤亮さんは「とてもうれしい。これからは質の高いまいたけを生産し、この良さを多くの人に知ってもらいたい」と話しました。なお、遠藤農産で生産しているきのこは、比布駅内ピピカフエ比布駅で販売、また「まいたけピザ」として提供されています。ぜひ、ご賞味ください。



旭川比布同郷会が総会を開催

3月12日、旭川近郊に住む比布町出身者で構成する旭川比布同郷会(合田春夫会長)の第64回総会と懇親会が旭川市内で開かれ、会員90人が出席しました。

合田会長は、「ふるさと比布町の益々の発展を願うとともに、交流を深めてほしい」とあいさつ。伊藤町長は「これからもふるさと比布町への力添えをお願いします」と祝辞を述べました。

懇親会では抽選会やカラオケなどが行われ、参加者は近況などを語り合いながら、楽しいひとときを過ごしました。



オアシスメモリーパークを除雪 商工会青年部がボランティア

比布商工会青年部(大熊勝幸部長)が、市街地十字街にあるオアシスメモリーパークの除雪作業を行いました。

同部では社会福祉事業として、毎年ボランティア活動を行っています。今年も部員9人が参加し、スコップや重機を用いて広場に積もった雪を取り除きました。作業に際し大熊部長は、「街の中心部



で、多くの人や車が通行する場所。地域の方々に安心して安全に通ってもらえれば」と話しました。